

# 富士山の低周波地震活動と傾斜変動(2002年10月～2003年1月)\*

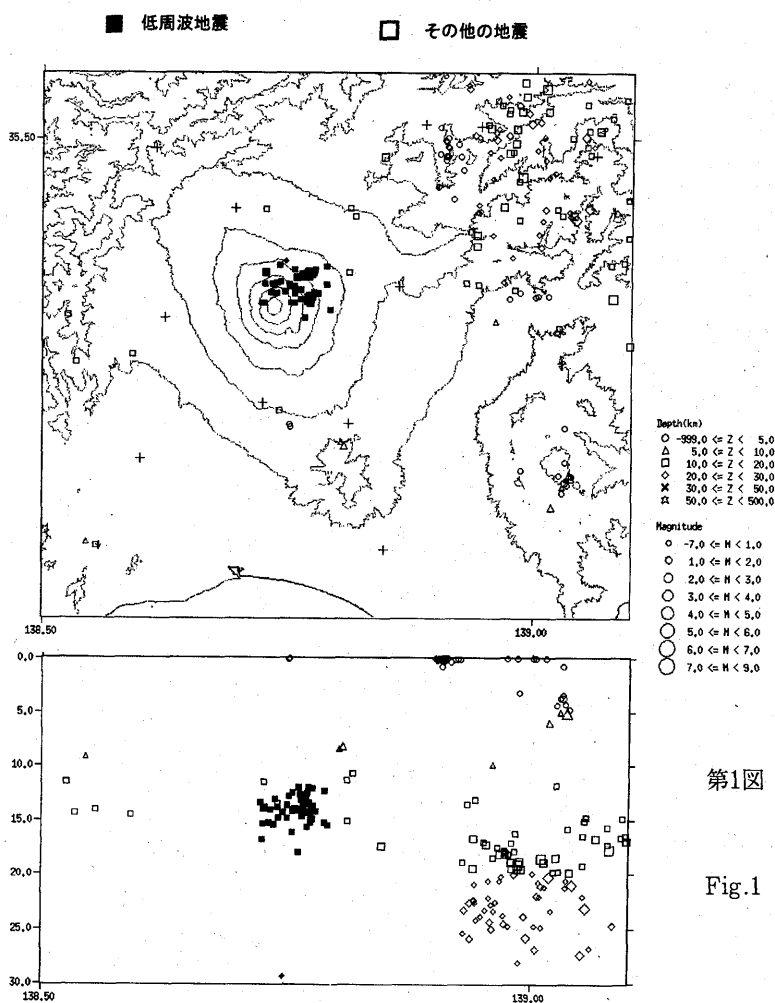
Low frequency earthquake activity and tilt changes at Mount Fuji  
(Oct. 2002 to Jan. 2003)

防災科学技術研究所\*\*

National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention

2002年10月1日から2003年1月14日の期間における富士山の低周波地震活動と傾斜変動について報告する。第1図は当該期間中の富士山周辺の震源分布で、これまでと同様、富士山の山頂から北東部の深さ10～15km付近を中心とした低周波地震活動が見られた。第2図は低周波地震活動の回数と概算波動エネルギーをそれぞれ1980年からの積算値で示したものである。2001年中頃以降、活動レベルは2000年から2001年の活発化以前の水準に戻っている。防災科学技術研究所の富士火山活動観測網に設置した4カ所の傾斜計には、この期間、顕著な異常変動は観測されていない(第3図)。

富士山周辺の地震活動 2002年10月1日～2003年1月14日

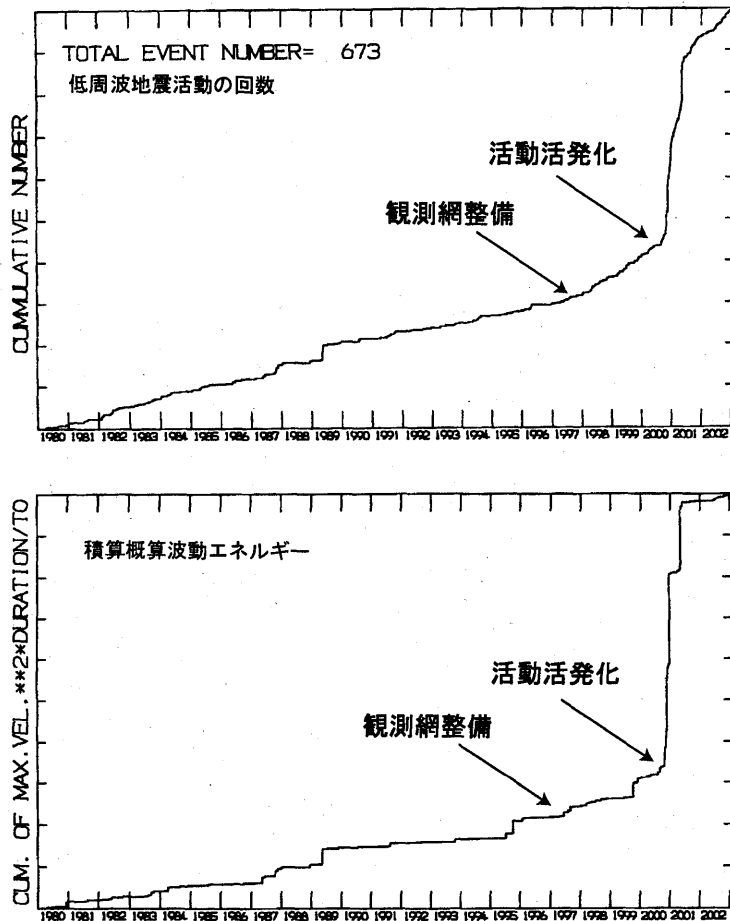


第1図 富士山周辺の震源分布。低周波地震は塗りつぶした記号で示す。表示期間は2002年10月1日～2003年1月14日。

Fig.1 Hypocenter distribution around Mount Fuji for the period from Oct. 1, 2002 to Jan.14, 2003. Solid symbols indicate locations of the low frequency earthquakes.

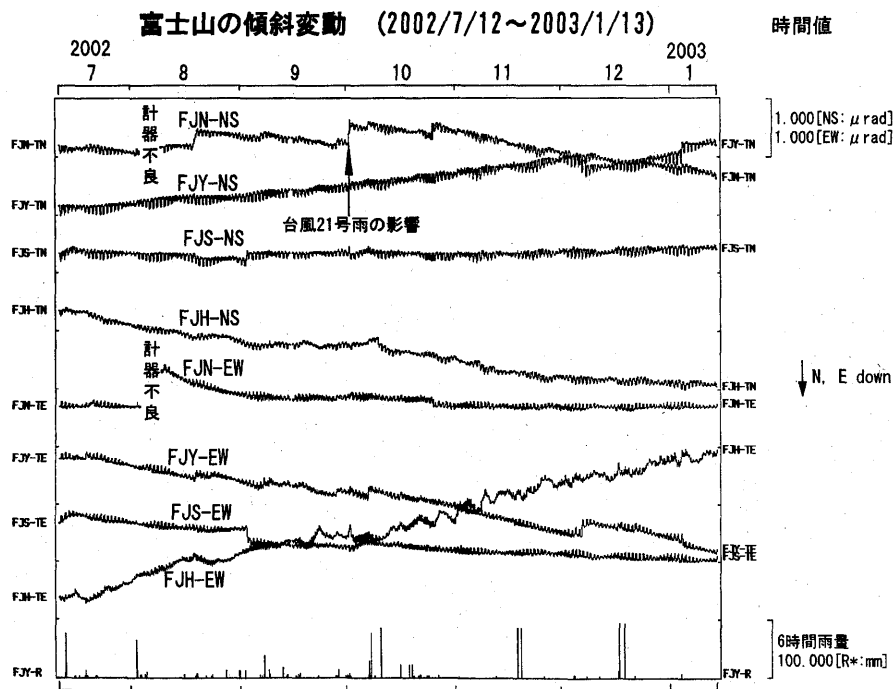
\* Received 15 April, 2003

\*\* 鷗川 元雄・藤田 英輔  
Motoo Ukawa and Eisuke Fujita



第2図 (上) 積算低周波地震回数 (1980/1/1~2003/1/14)。(下) 積算概算波動エネルギー (1980/1/1~2003/1/14)の相対的な時間変化。概算波動エネルギーEは、 $E=A_{max}^2 \times TD/T_0$ 、 $A_{max}$ とTDは特定観測点での最大振幅と振動継続時間、 $T_0$ は卓越周期でここでは一定として扱っている。

Fig.2 (Top) Cumulative number of the LF earthquake activity for the period from 1980/1/1 to 2003/1/14. (Bottom) Cumulative seismic wave energy calculated from the observed maximum amplitude and duration at the specific stations for the period from 1980/1/1 to 2003/1/14.



第3図 防災科学技術研究所・富士火山活動観測網による傾斜変動観測結果。表示期間は2002年7月12日~2003年1月13日で、表示データは時値(毎正時の値)。  
Fig.3 Tilt changes observed by the NIED Fuji volcano observation network for the Period from July 12, 2002 to January 13, 2003. Hourly data are plotted.